

## 【患者さん・ご家族の方へ】

### —— 「症例報告」についてのご説明 ——

私たちは、患者さんとともに取り組んでいる現在の治療について、よりよいものにしたいと常に考えています。たとえばその方法の一つに「症例報告」というものがあります。ここでは、対人関係療法で患者さんと治療者が取り組んだことについて、専門家同士で検討します。そして、その内容に関して、他の専門家の意見も聞きながら、治療の方法を確認したり、治療の効果をさらに高められるような方法を一緒に考えてもらったりします。このような場で、対人関係療法で治療に取り組んでいる治療者同士が検討することで、現在、患者さんが困っておられることに関して、解決の糸口を見つけやすくなるのではないかと考えています。

このような目的のために、患者さんの面接の情報（症状経過、処方内容、検査データなど）を、患者さん個人が特定されない形にして（個人情報保護して）、「症例報告」に活用させていただきたいと考えています。

具体的には、限られた専門家のみが出席を許可される**症例検討会の場で、資料を用いた口頭による報告**といった方式をとります。

発表の際は、患者さん個人が特定されないように（個人情報保護のために）、次のような配慮・工夫をします。

- 氏名：イニシャルも含めて提示しません。任意のアルファベットを使用する場合があります。
- 生年月日および住所：提示しません。
- 年齢：「〇歳代」などのおおよその形で提示します。
- 日付：「X年2月」といった、具体的な年代はわからない書き方にします。
- 地名：医療機関名や地域名などについては、「A病院」「B県」などの記載を用います。
- 家族歴・職業歴など：症例報告に必要な不可欠な事項に限定します。
- 検査データ・その他の医療情報：必要な場合に最小限の部分だけ提示することがあります。患者番号や氏名といった個人を特定可能な情報は削除します。
- 症例検討会に参加する専門家は、資料や知り得た情報を外部に漏らさないことを誓約した上で参加を許可されています。症例検討会で共有した資料は、終了後、速やかに破棄をして個人情報を保護します。

症例報告へのご協力は自由です。お断りになっても診療上の不利益がないことをお約束いたします。また、一度同意した場合でも、後で取りやめることができます。同意の撤回を申し出があった時点で、症例報告を中止致します。その場合でも、もちろん診療上の不利益がないことをお約束いたします。

以 上

～～ 症例報告への同意書 ～～

1. 私は担当治療者から、治療法（対人関係療法）の向上や治療者の育成などの目的で、私の面接情報を症例報告に活用したいという申し出を受けました。
2. 私は担当治療者から、次のような説明を受けました。
  - 症例報告の場（症例検討会）や形（資料を用いた口頭による報告）、医療情報の利用方法、個人を特定されない形にすること（個人情報保護の方法）
  - 同意するかどうかは自由であり、同意せず断ったり、一度同意した後に同意を取りやめたりする場合にも診療上の不利益は生じないということ
  - 症例検討会で共有された資料については、終了後、速やかに破棄されること
3. 私は、以上を理解した上、面接情報などを症例報告へ用いることに同意します。

日付            年            月            日

担当治療者 署名 \_\_\_\_\_

本人            署名 \_\_\_\_\_

代諾者        署名 \_\_\_\_\_（続柄 \_\_\_\_\_）